

進化する和英小辞典 ——入りたい単語、入れない単語

森口 稔



◆見出し語数

辞書の目的が、知らない単語を調べることであると考えると、その収録語数は多ければ多いほど良い。「調べたのに載っていない」という経験を一度でもすると、学習者の辞書への信頼は薄らいでしまう。しかし、当然のことながら、紙幅の問題など様々な事情によって、無限に収録語数を増やすことはできず、それぞれの大きさに合わせた妥当な語数に収まる。たとえば、大修館書店のホームページによると、『ジーニアス英和辞典 第3版』には8万3000の語句が収録されている。8万語もあると考えるべきか、8万語しかないと考えるべきか。

いずれにしろ、英和辞典の付録としての和英小辞典では、その制限はさらに厳しい。倉島(2000)によると「大小にかかわらず国語辞典が共通に載せている語は三万弱」とあり、それならば、せめて3万語程度は必要なのかもしれない。ただ、『アクシスジーニアス英和辞典』が高校生レベルであることを考えるならば、必要とされる日本語も若干少なくなる可能性はある。

今回の和英小辞典の編集作業は、『ベーシックジーニアス英和辞典 第2版』付録の和英小辞典のデータを元に行った。約800語を削除し、約1100語を追加して、その結果、約2万5000語を収録している。以下、その詳細を紹介する。

◆割愛した語

5年ほど前、ある国語辞典改訂の仕事をしていたときのことである。筆者の役割は、改訂前の版

に目を通し、加筆修正すべき点を列挙することだった。追加すべき見出し語や書き換えるべき語義を挙げ、月に1回レポートを出していたが、あるとき出版社から「削除すべき見出し語も提案してください」と言われた。ところが、これがなかなか難しい。というか、かなりの勇気が必要とする。

上述したように、「調べたのに載っていない」という状況は避けたい。それに、そこにある見出し語は、これまでの編者や執筆者が何らかの思いを持って入れたはずである。かと言って、誰も引かない語を入れておく意義はない。

今回の和英小辞典では、勇気を振り絞って、以下のような単語を元データから割愛した。

- (a) 中学1年生レベルの基本的すぎる単語
- (b) 多義語
- (c) 高校生が使いそうにない古い日本語
- (d) 漢語や和語に同じ意味があるカタカナ語
- (e) 日本語化しているアルファベット語

数えたわけではないが、感覚的には、(a)が最も多い。1冊の書籍としての和英辞典であれば、基本的な単語でも、用例や慣用句や複合語を記述することで収録する意味がある。しかし、和英小辞典では、基本的には見出し語に対する訳語のみを載せる。そのため、「男の子」「五」「だが」「何」「半分」などの語は割愛した。

(b)は(a)とも重複するが、基本的な多義語を和英小辞典で適切に記載することは困難と考えて割愛した。たとえば、「事(こと)」「…と」「前(まえ)」「やる」「良い」である。

(c)については、幸い、筆者の息子たちが高校を

卒業して数年しか経っていないため、筆者の直観だけではなく、高校生が使いそうにない単語を彼らに確かめながら、削除していった。たとえば、「アノラック」「アフロヘア」「チョッキ」「とらの巻」などである。

(d)は、カタカナ語としてよく使われるが、和語や漢語にも同じ意味の語が存在する、「スイミング」「ペーパー」「マーケット」などである。ただし、「ペーパーナイフ」のような複合語は入れた。

(e)としては、「ティー」「ナサ」などを削除した。

◆追加した語

上述した語を割愛した上で、以下のような語句を追加した。

- (a) 新語や若者言葉
- (b) 高校の授業に関連する語句
- (c) 日本文化に関連する語句
- (d) オリンピック・パラリンピック種目
- (e) 擬音語・擬態語

(a)としては、新語関連の文献を参照し、高校生が使いそうな単語を収録した。

つゆだく plenty of sauce

ツンデレ usually cold and sometimes sweet

真逆 completely opposite

萌え a fascination, a crush ; [感動詞的に]

How cute!

(b)は、数学・理科・社会・保体の高校教科書の索引から、専門的になりすぎない範囲で拾った。

基本的人権 fundamental human rights

実存主義 existentialism

生活習慣病 lifestyle disease

天気図 weather map

度数分布表 frequency distribution table

(c)は、インバウンド観光客の増加を意識し、以下のような語を加えた。

あみだくじ lattice-pattern lottery

文楽 puppet show

密教 esoteric Buddhism

妖怪 [怪物] monster ; [幽霊] ghost

(d)を追加したのは、東京オリンピック・パラリンピック開催を控えてのことである。また、この機会に冬季五輪種目も入れている。

近代五種競技 the modern pentathlon

車いすテニス wheelchair tennis

ノルディック複合 Nordic combined

ボッチャ Boccia

ボルダリング bouldering

(e)については、日本語における擬音語・擬態語のバリエーションを考えると、際限がなくなるので、最低限に留めた。

おいおい泣く cry hard [bitterly]

カチンとくる get mad

へらへら笑う giggle foolishly

ヨチヨチ歩く toddle along

◆注意すべきカタカナ語

見出し語の増減以外に修正した点の一つにカタカナ語の注記がある。以下のように、カタカナ語と英語が異なる場合は、*を付けて注意を促した。

オーダーメイドの* custom-made

バイク* motorcycle

ベニヤ板* plywood

ホッチキス* stapler

◆本格的な和英辞典の使用に向けて

この和英小辞典は、あくまで英和辞典の付随的存在である。もちろん、高校生の英語学習の参考になれば幸いだが、そこで満足せず、高校生たちが本格的な和英辞典に手を伸ばしてくれることを切に望む。

【参考文献】

倉島節尚 (2000) 「語数をめぐるせめぎ合い」『言語』第29巻5号 : 64-69.

(もりぐち みのる・京都外国語大学非常勤講師)